

1 題材について

対 象 学 年	中学校 第2学年
学 習 指 導 要 領	第2学年及び第3学年の内容 B鑑賞(1)ア、ウ、エ
題 材 名	交響曲を味わう(全2時間) 【教材名】 鑑賞教材:「交響曲第5番八短調作品67」
題 材 目 標	<p>交響曲第五番の構成要素が生み出す曲想の変化に関心をもち、オーケストラの豊かな響きや、動機の発展による楽曲構成のすばらしさを味わうとともに、作曲家や楽曲の背景となる文化や歴史に関心をもち鑑賞することができる。 (音楽への関心・意欲・態度)</p> <p>第5番の曲の構成要素を理解し、それらが生み出す曲想の美しさを感じ取るとともに、背景となる文化・歴史とかかわらせて総合的に感じ取ることができる。 (音楽的な感受や表現の工夫)</p> <p>交響曲第5番を背景となる文化・歴史とかかわらせて総合的に聴くことができる。 (鑑賞の能力)</p>
配 慮 事 項	<p>基礎的・基本的な内容の確実な定着の工夫 題材指導計画作成上の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 一つの楽曲に対して、作曲家の想いや願い、曲の構成、楽器の特性を生かした表現の仕方、時代背景などを理解し味わえるよう自己課題をもって追究し、発表する場面を確保する。 <p>単位時間における工夫(音楽活動の基礎的な能力を伸ばす指導・援助等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人一人がより楽曲のイメージを広げた鑑賞をすることができるよう、作曲家と楽曲とのかかわりなど、一つの楽曲をとりまく要素をインターネットや図書館の本を活用して調べ、交流する場をもつ。
参 考 資 料	

2 題材の評価規準

	ア 音楽への関心・意欲・態度	イ 音楽的な感受や表現の工夫	エ 鑑賞の能力
鑑賞			
内容のまとめりごとの評価規準	<p>音楽の構成要素・表現要素の働き及びそれらが生み出す曲想の変化に関心を持ち、意欲的に聴いている。</p> <p>我が国の音楽及び世界の諸民族の音楽における楽器の音色や奏法と歌唱表現の特徴、それらによる音楽の多様性、音楽の背景となる文化・歴史と他の芸術とのかかわりなどに関心を持ち、意欲的に聴いている。</p>	<p>音楽の構成要素・表現要素を知覚し、それらが生み出す曲想や美しさを感じ取っている。</p> <p>我が国の音楽及び世界の諸民族の音楽における楽器の音色や奏法と歌唱表現の特徴を感じ取っている。</p> <p>音楽をその背景となる文化・歴史及び他の芸術とかかわらせて総合的に感じ取っている。</p>	<p>音楽の構成要素・表現要素の働き、及びそれらが生み出す曲想の変化を聴き取り、楽曲全体を味わって聴き取っている。</p> <p>我が国の音楽及び世界の諸民族の音楽における楽器の音色や奏法と歌唱表現の特徴から音楽の多様性を理解し、楽曲全体を聴き取っている。</p> <p>音楽をその背景となる文化・歴史及び他の芸術とかかわらせ、楽曲全体を総合的に理解し、聴き取っている。</p>
題材の評価規準	<p>交響曲第五番の構成要素が生み出す曲想の変化に関心を持ち、オーケストラの豊かな響きや、動機の発展による楽曲構成のすばらしさを味わうとともに、作曲家や楽曲の背景となる文化や歴史に関心を持ち鑑賞している。</p>	<p>交響曲第5番の曲の構成要素を理解し、それらが生み出す曲想の美しさを感じ取るとともに、背景となる文化・歴史とかかわらせて総合的に感じ取っている。</p>	<p>交響曲第5番を背景となる文化・歴史とかかわらせて総合的に聴いている。</p>
単位時間における具る体の評価規準	<p>曲想に関心を持ち動機リズムがもつ緊張感から自己のイメージを膨らませることに意欲的である。 (鑑賞)</p> <p>曲や作曲家、文化や歴史、楽器について関心を持ち、調べることや説明することに意欲的である。 (鑑賞)</p>	<p>主題が反復、変化、再現されていることから、曲想を感じ取っている。 (鑑賞)</p>	<p>作曲家や楽曲、文化や歴史、楽器について理解し、曲全体を味わって聴いている。 (鑑賞)</p>

3 指導と評価の計画（全2時間）

時	教材	ねらい	学 習 活 動	評価規準	評価方法	指導・援助
1	交響曲第五番八短調作品67	主題が反復、変化、再現される様子に関心をもち、ソナタ形式の働きから曲想を感じ取ることができる。	<p>第1主題、第2主題を聴き旋律とそのイメージを感じ取る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>主題が反復、変化、再現される様子に注意して聴こう</p> </div> <p>第1楽章の感想を書き、交流する。</p> <p>提示部・展開部・再現部を部分的に鑑賞する。</p> <p>曲や作曲者及び当時の時代背景等について興味・関心をもったことから個人課題を設定する。</p>	<p>ア - 曲想に関心をもち、動機のリズムがもつ緊張感から自己のイメージを膨らませることに意欲的である。</p> <p>イ - 主題が反復、変化、再現されていることから、曲想を感じ取っている。</p>	<p>学習カード ・曲に対するイメージをもとうとしているか、発表や記述内容から評価する。</p> <p>学習カード ・提示部、展開部、再現部において、主題が反復、変化、再現されていることを感じ取っているか記述内容から評価する。</p>	<p>イメージをリズムや強弱、音色など音楽の諸要素から感想をまとめるよう助言する。</p> <p>主題の変化を旋律をピアノ等で弾いたり、主題の演奏部分を拳手で確認したりして、反復、変化、再現を感じ取らせる。</p>
2	交響曲第五番八短調作品67	作曲者、交響曲第五番等の楽曲文化・歴史等から選んだテーマについて、インターネットや本等で調べたりまとめたことを発表し、ベートーヴェンが第5番を	<p>管弦楽の特徴や曲の構成について振り返る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>曲や作曲者、当時の文化や歴史について調べたことを発表しよう。</p> </div> <p>休み時間や家庭等でパソコンや本を活用して調べてまとめたポートフォリオを準備し、仲間の前で発表できるよう練習する。</p>			

	<p>作曲した苦労や時代背景、生い立ち等の理解を深めたり、交響曲についての関心を高めたりすることができる。</p>	<p>課題追求で理解できたことを仲間に分かるようにポートフォリオを使って説明する。</p> <p>学習してきたことをふまえて曲を鑑賞し、感想を書く。</p>	<p>ア - 曲や作曲者、文化や歴史、楽器について関心をもち、調べることや説明することに意欲的である。</p> <p>エ - 作曲者や楽曲、文化や歴史、楽器について理解し、曲全体を味わって聴いている。</p>	<p>観察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の課題に対して何でどのように調べたのか、調べたことを意欲的に説明しようとしているかを、発表の様子や内容から評価する。 <p>学習カード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽曲の背景と結びつけて楽曲全体を聴き取っているか、学習カードの記述内容から評価する。 	<p>自分の課題にこだわり意欲的に追究したり説明したりするよさを価値付け、他の生徒にそのよさを広げる。</p> <p>個人課題で調べたことや仲間の発表を聴いて学んだことを思い浮かべながら鑑賞するよう助言する。</p>
--	---	--	--	--	--

4 単位時間の授業展開例

(1) 本時のねらい

作曲者、交響曲第5番等の楽曲、文化・歴史等から選んだテーマについて、インターネットや本等で調べたりまとめたりしたことを発表し、ベートーヴェンが第5番を作曲した苦労や時代背景、生い立ち等の理解を深めたり、交響曲についての関心を高めたりすることができる。

(2) 本時の位置

2 / 2時

(3) 展開案

過程	学 習 活 動	評価について	指導・援助
つかむ	1 前時の学習を振り返る。 ・ソナタ形式(提示部、展開部、再現部)や、曲が展開されていく中での楽器の音色や役割		音楽用語など分からない語句や忘れていたことについて援助する。
曲や作曲者、当時の文化や歴史について調べたことを発表しよう。			
/	2 休み時間にインターネットや本を活用して調べてまとめたポートフォリオを準備し、発表できるように練習する。		取り掛かったが、自分の課題についての説明ができない生徒には、仲間に分かりやすい発表の仕方を工夫するように援助する。
/ 高める	3 課題追求で理解できたことを仲間に分かるようにポートフォリオを使って説明する。 ・想像と現実の違い。 ・曲や作曲者について新たに発見したこと。 ・当時の文化。	ア - 曲や作曲者、楽器や文化について関心をもち、調べることや説明することに意欲的である。 観察 ・自分の課題に対して何でどのように調べたのか、調べたことを意欲的に説明しようとしているかを、発表の様子や内容から評価する。	自分の課題にこだわり意欲的に追究したり説明したりするよさを価値付け、他の生徒にそのよさを広げる
/ まとめる	4 曲の構成や楽器の音色、作曲者の人物像、当時の歴史や文化を総合して曲を鑑賞し感想を書く。	エ - 作曲者や楽曲、文化や歴史、楽器について理解し、曲全体を味わって聴いている。 学習カード ・楽曲の背景と結び付けて楽曲全体を聴き取っているか、学習カードの記述内容から評価する。	個人課題で調べたことや仲間の発表を聴いて学んだことを思い浮かべながら鑑賞するよう助言する。

5 評価の実際と個に応じた指導事例

(1) 本時重点的に取り上げた評価規準

評価規準(エ -)

作曲家や楽曲、文化や歴史、楽器について理解し、曲全体を味わって聴いている。

(2) 評価の実際

— 評価の方法 —

学習カード

- ・初めて曲を聴いたときと授業の終わりに書いた感想の記述内容から評価した。具体的には「いい曲だ」「難しい曲だ」という最初の感想から、学習で理解できた内容(ソナタ形式、提示部、展開部、再現部、コーダ、作曲者の生い立ち、時代背景、楽器)などの言葉や文章が使われ、具体的な内容が書けているかどうかという点から評価した。

— 判断の事例 —

Cと判断

- ・最後の感想も、「いい曲だ」「長かった」など、曲のもつ様々な要素を結び付けて感想を書くことができなかった生徒をCとした。

Aと判断

- ・最初の感想は「重苦しい感じがするが、同じ曲でもなめらかな部分も感じられる」という感想だった。学習を通した最後の感想で、曲の構成によって楽器の音色が変えられていること、ベートーヴェンの他の曲と比べこの曲が作曲者の全てではないこと、などを書いていた生徒をAとした。

(3) 個に応じた指導の実際(Cと判断される状況への働きかけ)

曲の構成について理解できず、「退屈だ」「つまらない」となかなか曲全体を集中して聴くことができない生徒に対して、交響曲で使われている管楽器の実物を何種類か触れさせた。そして、「その楽器がこの曲のどこに使われているのか」「どんな音色で演奏されているのか」などと問いかけたところ、興味をもって鑑賞する姿がみられた。授業外でも、何回か音楽室に姿を見せたので、1フレーズ吹けるよう少し指導したら、さらに音色に興味・関心をもち曲全体を聴くことができた。

曲を聴いても「別になにも感じない」と答える生徒に対して、作曲者の他の曲はどのようなものがあるか調べてみるよう助言した。するとピアノソナタ「悲愴」第2楽章はビリージョエルが歌詞を付けて歌っていることを知った。それが嬉しかったのか、ベートーヴェンの生涯などを調べ、どんな時代だったのかなどを理解しようとする姿がみられた。その生徒は、最初は「何も感じない」という感想を書いたが、学習の最後は、時代背景や曲全体のことについて書いていた。